

世界遺産 熊野新宮

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

Sacred Sites and Pilgrimage Routes
in the Kii Mountain Range

熊野古道 Kumano Kodo

熊野三山(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社)を詣でる古くからの道が「熊野古道」です。平安時代後期から熊野三山を多くの人々が巡拝するようになりました。京都・大阪から「紀伊路」を通して、田辺から山中を東に分岐する「中辺路」、海岸線を大回りする「大辺路」、高野山と本宮を結ぶ「小辺路」、伊勢神宮から熊野を目指した「伊勢路」の4ルートがあります。吉野・大峯山と熊野三山を結ぶ修験者の「大峯奥駈道」も厳しい山岳信仰の道として有名です。新宮市には、中辺路(大雲取越、小雲取越、高野坂、川の参詣道・熊野川)の他、大辺路、伊勢路、大峯奥駈道の一部が通っています。



よみがえりの聖地熊野で、心・身体・全てを癒やす

熊野参詣道中辺路 大雲取越「楠の久保旅籠跡」
Ogumotori-goe Section "Kusu-no-Kubo Lodging Remains"

大雲取越の洞切坂と呼ばれる急な下り坂を行くと苔がはりついた石垣が続くこの場所に着きます。かつて10数件の旅籠があった場所です。



今から1200年以上前、平安時代の上皇・貴族たちが体験した道。

神が御座す聖域、熊野。
神話の時代へとつづく熊野古道。



熊野参詣道中辺路 大雲取越「楠の久保の地藏像と石垣跡」
Ogumotori-goe Section "Kusu-no-Kubo Statue of Jizo & Ishigaki Mark"



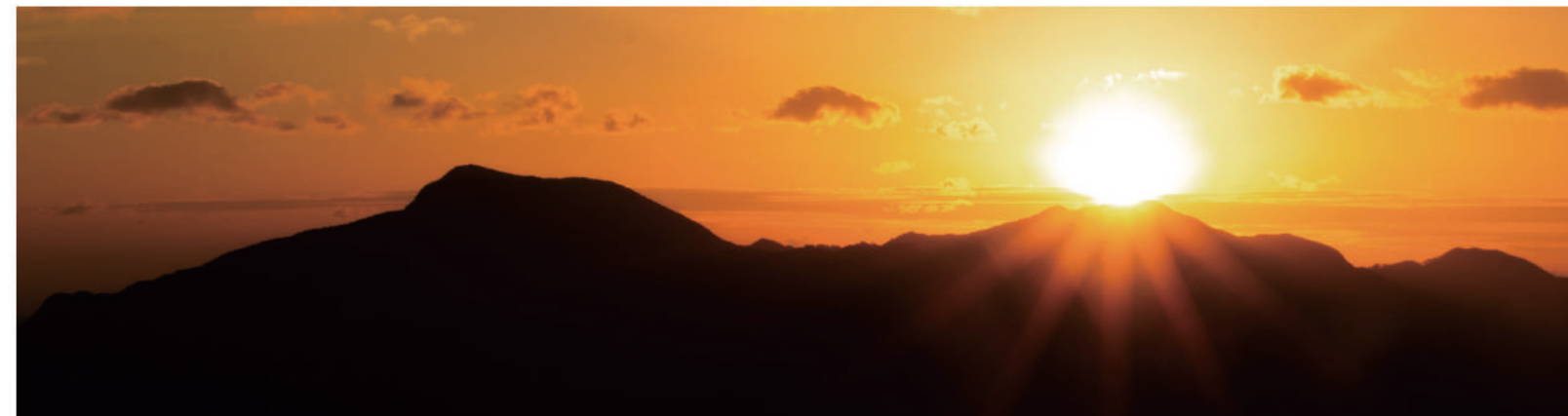
熊野参詣道中辺路 小雲取越
「賽の河原地蔵」
Kogumotori-goe Section
"Sainokawara Jizo"

比較的歩きやすい古道が続き、石堂茶屋跡を過ぎると狼に襲われた少年を葬ったと伝わる賽の河原地蔵に出会えます。



熊野参詣道中辺路 大雲取越
「円座石」(わろうだいし)
Ogumotori-goe Section
"Waroda-ishi Rock"

この上で熊野三山の大神々が座ってお茶を飲みながら談笑したという伝説の大岩。苔むした岩肌には、熊野三山の本地仏が梵字で彫られています。





鮮やかに浮かび上がる、信仰の聖地。
熊野速玉大社
Kumano Hayatama Taisha Grand Shrine
📍新宮駅より徒歩15分

世界遺産に登録されている熊野三山のひとつで、熊野川を背にして朱色に輝く美しい社殿の熊野速玉大社は生命の根源である水の動きを神格化したものと考えられている熊野速玉《はやたま》大神(イザナギノミコト)熊野夫須美《ふすみ》大神(イザナミノミコト)を中心に十二柱の神々が祀られ、「新宮十二社大権現」として崇拝されています。熊野三山を地元で統括した熊野別当の新宮一族の拠点として門前寺を形成し、新宮発展の中心となりました。



榎(なぎ)の大樹
The Sacred Tree Nagi

熊野速玉大社の参道にある、高さ約18m 幹回り約5m、樹齢は千年近いとされる国の天然記念物。古くから熊野詣を果した心の支えとして、この榎の葉をいただいて帰る習わしがあります。海の風に通じるという平安・男女和合の証でもあります。



熊野速玉大社例大祭 御船(みふね)祭 (10月16日)
Mifune Matsuri Festival

国指定重要無形民俗文化財
熊野速玉大社例大祭(10月15・16日)のひとつで、神霊を遷した神輿を乗せた美しい神幸船と勇ましい9隻の早船競漕による「御船祭」は、世界遺産に登録された熊野川で行われます。



神倉神社
Kamikura-jinja Shrine

神倉神社
Kamikura-jinja Shrine
📍新宮駅より徒歩15分

熊野三山の元宮。高さ80m近い断崖絶壁にあり天磐盾(あまのいわたて)として崇められ、祭神は高倉下命(たかくらじのみこと)。ここには神の磐座(いわくら)と崇拝されてきた巨石があり、「ゴトビキ岩」と呼ばれています。古代から霊域として、また修験者の行場として栄えてきたことが分かります。「ゴトビキ」とは、熊野地方の方言で「ヒキガエル」の意。538段の仰ぎ見るような自然石の石段を登りつめた先には、御神体のゴトビキ岩と新宮一望の景色があります。



御燈祭り (2月6日)
Oto Matsuri Festival
国指定重要無形民俗文化財

熊野に春を呼ぶ神倉神社の「御燈祭り」は『熊野年代記』によると、西暦574年正月二日に神倉山が光を放ち、翌年正月六日夜、神倉火祭り始めると記されているほど歴史のある祭りです。白装束で腹に荒縄を巻いた上り子と呼ばれる2000人前後の男達が松明に御神火を受け祈願します。午後8時ごろ閉ざされていた山門が開くと、上り子達は急峻な538段の石段を一気に駆け下ります。炎の滝が流れ落ち、火の竜がうねるような光景が繰り広げられ、全国の火祭りの中でも最も勇壮な祭りの一つといわれています。



阿須賀神社
Asuka-jinja Shrine

阿須賀(あすか)神社
Asuka-jinja Shrine
📍新宮駅より徒歩10分

熊野川河口近くにある蓬莱山(ほうらいさん)南側の麓に鎮座する古社で、祭神は事解男命(ことさかのおのみこと)。古くから熊野三山の神を祀り、平安時代から「阿須賀王子」とされました。熊野詣の人々が平安時代後期から室町時代に奉納した御正体(懸仏《かけぼとけ》)約200面が社殿裏から出土するなど、熊野信仰の重要な王子社でした。



川の参詣道 熊野川 Kumano-gawa River

熊野川は、紀伊山地の北部から熊野灘へと流れ込む全長183kmの河川です。河口近くには熊野速玉大社が鎮座しています。熊野本宮大社から熊野速玉大社への交通手段として利用され、「川の参詣道」として世界遺産に登録されました。大自然の中に点在する滝や奇岩には、様々な伝承が伝わっています。

雄大で静かな 安らぎと癒やしの 景観地



熊野川舟下り Kumano River Boat Tour

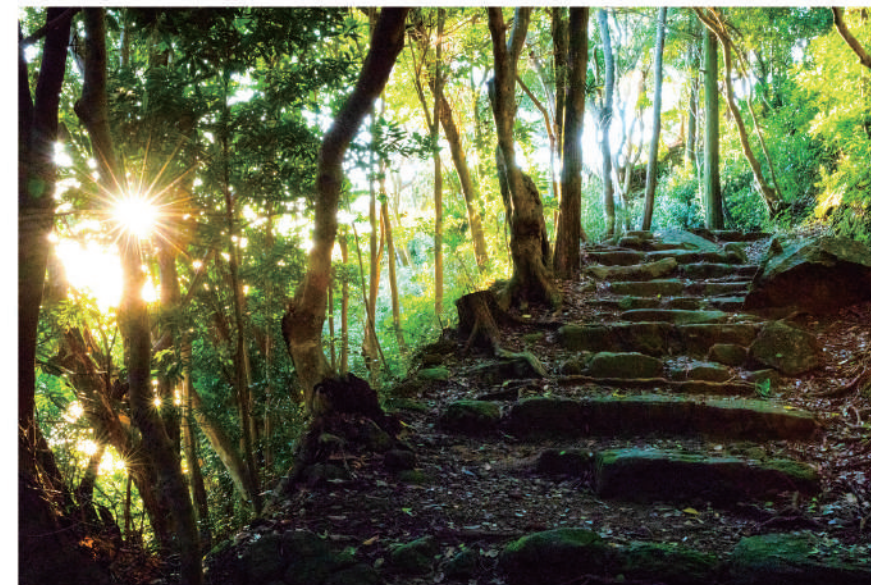
その昔、皇族らが熊野本宮大社と熊野速玉大社を巡拝する際に利用した川舟下り。道の駅「瀬峡街道熊野川」から乗船し、熊野速玉大社近くの権現河原までの川下りが楽しめます。舟から望む景色を語り部が案内し歴史や物語も一緒に知ることができます。

問:熊野川川舟センター TEL:0735-44-0987



熊野参詣道中辺路「高野坂」 Koya-zaka Slope

熊野速玉大社から熊野那智大社へ巡拝する人たちが通った中辺路ルートの一部。熊野九十九王子のひとつ浜王子をお参りし、熊野灘の絶景を眺めながら王子ヶ浜をしばらく行くと、高野坂登り口に到着。木々の間から見える大海原や苔むした石畳、古道脇の石仏など、約1.5kmの短い行程に見どころが凝縮されています。



日本の滝百選「桑ノ木の滝」 Kuwanoki Falls

熊野川の支流、高田川のさらに支流の桑ノ木渓谷にかかる落差21mの瀑布。日本の滝百選にも選ばれる名瀑はその昔に滝の周囲に桑の木がたくさん生えていたことからこの名前が付けられたそうです。県道230号沿いの高田川にかかる橋から滝までは遊歩道があり、ウォーキングを楽しめます。

瀬 峡
Doro-kyo Gorge

「瀬八丁」(国指定の特別名勝および天然記念物)と呼ばれる、約31kmにもおよぶ吉野熊野国立公園の大渓谷。和歌山・奈良・三重の3県にまたがり流れる北山川によって形成されています。ウォータージェット船で両岸にそびえる断崖奇岩を間近に見ることができ、瀬峡では約20分間下船。四季折々の渓谷美を満喫できます。
問:熊野交通(瀬峡予約センター)
TEL:0735-44-0331



孔島・鈴島

Kushima Island・Suzushima Island

三輪崎漁港の先に奇岩怪石が連なる海岸線で、ひときわ目をひくのが孔島と鈴島。吉野熊野国立公園の中にあり、南紀熊野ジオパークを構成するジオサイトに認定されています。孔島では新宮市の花であるハマユウの他に、51科120余種の植物群生が観察できます。鈴島にも60種あまりの植物が群生。ともに典型的な暖地性海岸植物群落です。



御手洗海岸 Mitarai Coast

王子ヶ浜の南に突き出た岩山の磯で、熊野詣の人々が塩水で身を清めた禊(みそぎ)の場所とされています。

歴史を感じ、新宮の物語を旅する。



新宮(丹鶴)城跡 Shingu (Tankaku) Castle Ruins

📍 新宮駅より徒歩10分

熊野川河口の南岸の小高い丹鶴山に築かれた眺望の良い城跡公園。元々は源為義の娘である丹鶴姫が、丹鶴山東仙寺を築いたことから「丹鶴城」とも呼ばれています。1619(元和5)年にこの地域を治めていた浅野氏に代わり、初代紀州藩主の徳川頼宣(徳川家康の十男)の付家老である水野氏が入部。その後10代にわたり長い統治が続き、現在の新宮市は城下町として栄えました。港や炭納屋のある水ノ手郭や、技術の粋を結集した石垣からも当時の勢力がうかがえます。2003(平成15)年「新宮城跡附水野家墓所」として国史跡指定、2017(平成29)年「続日本100名城」に選定されました。



水野家墓所 Mizuno Family Tomb

幕末に大老・井伊直弼(なおすけ)と組んで紀州藩主慶福(よしとみ・のちの将軍家茂)を14代将軍にするため辣腕を振った新宮9代目藩主の水野忠央(ただなか)は、長州の吉田松陰から「奸にして才あり一代の豪なり」と評されるなど、時代を先読みする進歩的な藩主としても知られています。洋式砲術や造船・操船術などの研究に大変熱心で開明藩主として多くの海外知識を新宮にもたらし「丹鶴叢書」を編纂するなど文化面にも尽力しました。新宮市橋本には、水野忠央と歴代藩主や親族の基碑16基が並ぶ水野家墓所があります。



浮島の森 Ukijima-no-Mori Island

📍 新宮駅より徒歩10分

新宮市街地の中央にあるこの浮島は島全体が沼に浮いており、珍しいシダ類や水生植物を見ることが出来ます。北方系植物と亜熱帯系植物の混生群落は非常に珍しく、1927(昭和2)年に国の天然記念物に指定されています。



徐福公園 Jofuku Park

Jofuku Park

📍 新宮駅より徒歩2分

秦の始皇帝の命により、不老不死の靈薬を求めてここ熊野の地に渡来した徐福。その後も大陸に戻ることなく、農耕や捕鯨、紙すきなどの技術を伝えたといわれています。徐福公園は、1994(平成6)年8月、徐福の墓を中心に中国風の楼門を設置するなどの整備を行いました。園内には顕彰碑や徐福の重臣たち7人を祀った七塚の碑のほか売店もあり、自転車とチャイナドレスのレンタルも実施中です。



天台烏薬 Tendaiyaku

Tendaiyaku

徐福が探したといわれる靈薬。アルツハイマー病や老化現象の原因となる活性酸素を取り除く効果が高いことも証明されています。



園内にある「徐福の墓」は、初代紀州藩主の徳川頼宣の命によって建立されました。毎年8月12日には「徐福供養式典」が行われています。



佐藤春夫記念館 Sato Haruo Memorial Hall

『秋刀魚の歌』に代表される新宮市出身の作家、佐藤春夫の記念館。1927(昭和2)年、東京都に建てられた邸宅を1989(平成元)年に移築しました。



蓬莱山 Mt. Horaisan

Mt. Horaisan

熊野川河口の神秘的な山容の蓬莱山。阿須賀神社の神体山として祭祀用の土器などが出土し、熊野信仰の重要な聖地でした。徐福渡来の靈山とも伝えられています。



旧西村家住宅(西村記念館) Former Nishimura's Residence

国指定重要文化財 ※保存修理のため休館中

文化学院の創設者であり、大正・昭和期に日本人の生活スタイル改善を目指した西村伊作が設計した自宅です。



歴史民俗資料館 History & Ethnology Data Hall

History & Ethnology Data Hall

阿須賀神社境内にある資料館。蓬莱山から出土した御正体や新宮城跡資料、古文書、産業資料など新宮市の歴史を伝える資料を常設展示しています。

海・山・川と揃った 新宮は、食材の宝庫。

近海で水揚げされる海の幸。そして自然の恵みを活かした郷土料理。新宮市にはこうした地元グルメが楽しめる熊野エリアで随一の飲食店がたくさんあります。



さんま寿司 Sanma-Zushi

熊野灘でもまれることで脂が落ち、身の引き締まったサンマを使用した新宮名物のお寿司です。



めはり寿司 Mehari-Zushi

漬物の高菜の葉を広げて、ご飯を包み込んだおにぎりです。日本郷土料理百選にも選ばれた新宮を代表する郷土料理です。



熊野牛 Kumano-Beef

豊かな自然と温暖な風土に育まれ、全国的に見てもトップレベルの肉質と風味を備えた黒毛和牛種です。



高田グリーンランド・雲取温泉 Kumotori Onsen (Takata Greenland)

那智山と熊野川の間位置する高田川のほとりにある雲取温泉。泉質はアルカリ性単純泉。この地域では珍しい乳白色の湯があふれ神経痛、筋肉痛、関節痛等を和らげる効果があるといわれています。



熊野川温泉 さつき Kumano-gawa Onsen Satsuki

奥熊野の山々に囲まれた温泉郷。そのなかにある立ち寄り湯施設「熊野川温泉さつき」では緑の大パノラマが一望できる露天風呂が人気。周囲の緑の景観とあまってリラックス効果抜群です。



小口自然の家・小口キャンプ場

Koguchi Shizen-no-Ie Lodging・Koguchi Campground

熊野古道中辺路、本宮から那智へ抜ける大雲取越・小雲取越の中間地点に立地。廃校を利用した館内の廊下や食堂などはどこか懐かしい風景を感じられます。釣りや川遊びに絶好のロケーションで、垣根で区画されたオートサイトにはAC電源を完備するなど設備も充実しています。



新宮の思い出を 持ち帰れる名産品。

熊野地方の商業・文化の発信地として栄えた新宮市には、商店が数多くあり様々な商品を揃えています。



川原家横丁 Kawaraya Yokochi Store Alley

江戸時代から昭和にかけて熊野川河川敷に並んでいた「川原家」を再現。お土産・軽食などがあります。



熊野の地酒 Local Kumano Sake

熊野川の伏流水、良質な原料米にこだわった地酒です。日本酒以外に焼酎・リキュールなど豊富にあります。



徐福茶 Jofuku-Tea

天台烏薬の葉と番茶を使った新宮市特産のお茶です。



三輪崎八幡神社例大祭 (鯨踊り) (9月中旬)

Kujira Odori

和歌山県無形民俗文化財

大漁を祈願して披露されます。鯨をとる様子を踊りに仕立てた約300年の歴史をもつ勇壮な踊りは、日本遺産に認定された捕鯨文化を伝えるストーリー「鯨とともに生きる」の重要な構成要素のひとつです。



熊野徐福万燈祭 (8月12・13日)

Kumano Jofuku Manto-sai Festival

約2200年前に渡来したと伝えられる徐福の遺徳を偲ぶ供養式典と、熊野川河川敷では花火大会が行われます。水上スターマイン、ナイアガラなど約6500発の花火は迫力満点です。

新宮が生んだ文化人 Literary person of Shingu



佐藤春夫 Haruo Sato

新宮町(現新宮市)生まれ。小説『田園の憂鬱』、抒情詩『秋刀魚の歌』などのほか『オリンピック東京大会賛歌』などを残す。芸術院会員・文化勲章受章。

東くめ Kume Higashi

新宮町(現新宮市)生まれ。日本初の口語唱歌を作詞。作曲家・滝廉太郎とのコンビで『鳩ぽっぽ』『お正月』などの作品を残す。

西村伊作 Isaku Nishimura

新宮町(現新宮市)生まれ。東京駿河台に「文化学院」を創設。1914(大正3)年に竣工した自宅(旧西村家住宅)は与謝野晶子などが集うサロンになる。

畑中武夫 Takeo Hatanaka

星の進化と元素の起源を結びつけたT・H・O理論を発表し、わが国の電波天文学の礎を築いた。月のクレーターや小惑星に「ハタナカ」の名が付けられている。

中上健次 Kenji Nakagami

新宮市生まれ。新宮市の「路地」を舞台に独自の世界を築き上げた作品『岬』で芥川賞を受賞。1990(平成2)年には新宮市で自主講座「熊野大学」を開講した。

大石誠之助 Seinosuke Oishi

新宮町(現新宮市)生まれ。新宮で医療を学び、新宮で医師として開業。人権思想や平和思想の基礎を築いた。